

ロシア（極東）

2002年1 - 7月のロシア極東経済

2002年1 - 7月の極東の鉱工業生産成長率は 0.8%であった。7つの連邦管区の中でマイナス成長を記録したのは極東のみである。ただし、個別には非常に高い伸び率の地方もある。例えば、ハバロフスク地方及びチュコト自治管区は、鉱工業生産伸び率でサンクトペテルブルグ（25.9%）及びアギン・ブリヤート自治管区（25.3%）に次ぎ、それぞれ全国第3位（24.6%）及び4位（22.5%）を占めている。しかし、鉱工業生産の地域総額の約50%を占めるサハ共和国、アムール州、カムチャッカ州及びサハリン州で生産が落ち込んだため、地域全体の計数は悪化した。

ハバロフスク地方で目立って生産が増加したのは、クレーン（橋型）（146.2%）、製材（133.1%）、用材（120.3%）、コンクリート建材（115.8%）、石油一次加工品（114.7%）などである。チュコト自治管区では、牛乳製品が157.0%、石炭の生産が156.4%増加し、鉱工業生産増に大きく貢献した。また、ユダヤ自治州及びマガダン州でも伸び率がロシア平均レベルを大きく上回った。逆に、カムチャッカ州では、乳製品生産の0.4%増以外、殆どの主要製品の生産が減少し、鉱工業生産は15.0%落ち込んだ。

小売売上高の動向は、極東全体ではロシア平均とほぼ同じであるが、ユダヤ自治州、サハリン州、チュコト自治管区及びサハ共和国では上回っている。と同時に、多くの地方ではロシア平均より高いインフレ率を記録した。実質貨幣収入は、アムール州、マガダン州及びチュコト自治管区で減少したのに対し、残りの地方ではロシア全体より高い成長があり、極東全体の伸び率はロシアのそれを上回った。

プーチン大統領の極東訪問

8月23日～28日にプーチン大統領は沿海地方を訪問し、

極東の社会経済発展の問題に関する会議への出席、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の金正日総書記との首脳会談、沿海地方南部の港湾の視察などの日程をこなした。

地域発展の問題を討議した会議で、大統領は、国土の約40%を占める極東地域の発展が他地域に比べて遅れており、地域経済を活性化し、国内・国際経済への統合を進めることが国の戦略的課題であると指摘した。朝鮮半島縦断鉄道の建設についても触れ、ロシアが参加しないと中国経由のルートが先行する恐れがあり、このプロジェクトを急いで実現する必要があると強調した。

口朝会談で両国の指導者は、長い歴史を有する口朝友好協力関係を更に発展させる決意を再度表明した。老朽化した北朝鮮国内の産業設備の近代化や、ロシア極東への北朝鮮労働者の派遣、ロシアから北朝鮮への電力供給などを含む両国の経済協力の問題が取り上げられた。

また、朝鮮半島縦断鉄道とシベリア鉄道を利用した一貫輸送に関する構想が集中的に議論された。大統領は、この計画に本格的に取り組んで、北朝鮮の鉄道網整備などに協力していく考えを示した。現在シベリア鉄道の稼働率は低い、南北鉄道の接続により、これを高めることができると考えられている。

一方、通過貨物、特に中国の貨物を取り扱う港湾能力の向上が必要であるという声があり、25日にプーチン大統領はザルビノ港及びボシュエツ港を視察した。極東海運研究所が作成したザルビノ港ターミナル建設計画は、地理的優位性及び沿海地方南部のインフラの効率活用を可能にするものである。大統領は、この計画を高く評価し、輸送インフラの積極的整備の必要性を強調した。

その他に、プーチン大統領は沿海地方漁業、マスメディア、太平洋海軍司令部などの代表者との会談を行い、それぞれの問題を協議した。

（ERINA調査研究部研究員 ドミトリー・セルガチョフ）

（%）

	鉱工業生産 (2002年1 - 7月) 【前年同期比】	小売売上高 (2002年1 - 7月) 【前年同期比】	消費者物価 (2002年7月) 【対前年12月比】	実質貨幣収入 (2002年6月) 【前年同月比】	登録失業者 (2002年6月) 【前年同月比】	参考:地域総鉱工業生産 (2002年1 - 7月) 【対全国比(対全地域比)】
サハ共和国	0.5	17.4	8.9	15.7	1.6	1.25 (28.41)
沿海地方	1.1	6.4	6.9	19.0	58.6	0.74 (16.74)
ハバロフスク地方	24.6	4.9	12.1	6.5	1.9	1.25 (28.42)
アムール州	3.4	2.6	7.7	8.4	19.2	0.22 (4.98)
カムチャッカ州	15.0	1.7	12.1	8.9	41.3	0.28 (6.42)
マガダン州	12.9	5.4	10.5	1.8	1.7	0.23 (5.11)
サハリン州	8.6	21.3	10.9	8.2	14.3	0.36 (8.21)
ユダヤ自治州	14.1	21.4	11.9	15.3	18.2	0.03 (0.60)
チュコト自治管区	22.5	17.8	23.5	5.6	33.3	0.05 (1.13)
極東	0.8	8.9	9.7	10.3	19.8	4.41 (100.00)
ロシア連邦	3.9	8.7	9.8	4.0	20.1	100.00

（出所）ロシア国家統計委員会、「ロシアの社会経済状況」月報、7号、2001年、7号、2002年